



議員 悟  
保坂 議員  
中学生海外派遣  
事業の対応は

海外派遣事業の予算化  
の検討は

質問

海外派遣事業について、今年度の生徒・保護者へ、予算化しなかった理由など、どのような説明をしたのか。また

た、説明後の反応はどうか。この事業を半年以上検討しているが、事業目的や選考方法・自己負担の有無など検討結果について伺う。

教育長答弁

今年度は新型インフルエンザの動向を見極めるため実施



議員 豊  
大滝 議員  
高齡化地域における  
生活対策は

高齡化が進んでいる地域  
における市の施策は

質問

高齡化地域では、調査検討はもとより早急な対策が必要であり、高齡化地域の現状、日常生活における交通手段の確

保、農林道の維持管理、環境美化、ごみの分別収集について、市の方針及び施策等を伺う。

市長答弁

高齡者地域は、平成22年3月末現在で54地区である。交通手段として、路線バスの未運行地域など一部の中山間地

しないことと、来年度以降は見直しも含め検討している旨を、本年6月に学校へ周知した。生徒・保護者の反応は、中止になり残念との意見が数件あった。なお、今後の事業実施は、本年度、子ども一貫教育方針に基づく基本計画を策定する中で、外部委員の意見を聞き、より良い方向性を見いだしたいと考えている。

子どもの修学支援について

質問

各種奨学金貸与制度には、

域では、コミュニティバスや乗合タクシーを運行中である。

基幹農林道は、市で維持管理を行うが、その他の農林道は、沿線の受益者や地域住民から管理をしていただいているので、今後も地域の実情に応じた管理をお願いしたいと考えている。

また、環境パトロールなど不法投棄の巡回・監視も行っており、特に、中山間地域を重点的に実施中である。

なお、ごみの分別は、高齡者にも分かりやすく周知することに努め、今後とも18分別をお願いしていきたい。

学力と家計の基準を満たしても、予算の関係で、採用されないこともあるため、採用されなかった学生に対しての支援制度が必要ではないか。また、貸与額が不十分で経済的に厳しい学生への支援制度の計画を伺う。

教育長答弁

修学支援は、日本学生支援機構の奨学金をはじめ、新潟県が行っている各種奨学金な

地場産材の活用と地域の  
活性化策は

質問

木材産業は、林業振興の観点からも大事な基幹産業であり、森林振興の施策、地場産材の活用の現状、林業と地域の活性化施策、公共建築物等の利用促進の取り組みについて伺う。

市長答弁

地場産材の活用の現状は、平成21年度の「ふるさと越後の家づくり事業」などで合計

どもあり、当市にも、医療技術者修学資金貸与等の制度があるが、現在のところ新たな制度の計画は考えていない。市には、修学支援の相談は現在ほとんどないが、今後とも問い合わせ等があれば、情報提供に努めていく。

《その他質問項目》

- ・高齡者福祉と介護事業の充実
- ・教育環境

41棟の利用があり、今後も、関係機関と協力し、利用促進に努める。

また、林業と地域活性化は、若者の就業を増やすべく、森林組合等と連携し、地域の雇用確保と意欲的な林業従事者の育成に結び付けていきたい。

公共建築物等の利用促進は、これまでもできる限り地場産材を使用するよう取り組んできており、今後も、学校や保育園等の施設整備において、積極的に地場産材の利用に努めていきたい。